

アースウォッチのルール および ボランティアの権利と責任

アースウォッチには、ボランティアの皆様が調査に参加するときに、守っていただきたいいくつかのルールがあります。以下のルールおよびボランティアの権利と責任に関する事項を最後まで読んで、ご理解ください。これらについてご了承いただけない場合は、調査の参加をお断りすることになりますのでご承知ください。

1. 危険性への同意

アースウォッチの調査では楽しつつ学ぶことが多く、人生が変わるような経験もすることがあるでしょう。しかし人々を魅了する調査も、全く危険が無いわけではありません。調査のブリーフィングをよく読んで、参加調査の活動中に起こり得る危険性について充分認識してください。

同封の Liability Release にサインし、ボランティアとして登録する前に、調査に伴う危険性を再度確認して熟考してください。Liability Release に署名することは、潜在する危険性を受け入れることとなります。調査が行われる場所は、緊急事態や医療サービスの面で不便がある、また連絡手段や基本的な施設があまり、もしくは、全くないような遠隔地です。また、アースウォッチの調査に参加するということは、様々な気候や地域、両極端な気温、野営地での生活、肉体労働、潜在する危険性：政情不安、戦争、輸送上の困難、先進国では定められているはずの自動車の安全性規格の欠陥（シートベルトが無い等）、自動車事故の増加やその事態の深刻さ、ストライキ、病気、検疫、自然災害、野生動物の行動、また、アースウォッチが管理できない状況等のようなことに遭遇するかもしれません。

2. 知的所有権

調査期間中の写真やビデオの撮影は自由にできます。撮影した画像に経験談を添えて、家族、友人、地域のメディア、体験報告会などの場でアースウォッチの活動を紹介してください。ボランティアの体験談は、より多くの人々が調査に参加するきっかけになります。

しかし同時に、調査中に収集・利用した情報やデータ、画像はすべて主任研究者に知的所有権があります。調査中に集めたデータ、画像、情報を主任研究者の許可なくして、科学論文、修士あるいは博士論文、利益目的、学術研究、事業などのために転用および盗用することは、厳しく禁じられています。現地の人々とのインタビューを通して集めたデータも主任研究者の知的財産になります。主任研究者にはボランティアによるデータ・画像の利用を制限する権利があります。

ただし、学術研究活動や営利活動に対して、主任研究者がデータ・画像の使用許可証を発行することもあります。許可の対象については、必ず主任研究者に事前確認してください。

特別研究員ならびに奨学金取得者は、調査で学んだことをレポートとして提出するよう求められる場合があります。これらはカリキュラムの発展に利用されることもあります。主任研究者には、調査で集められた情報を含む資料の見直しおよび編集する権利はありますが、義務はありません。

3. 生活習慣と行動

アースウォッチは、人種、宗教、民族的背景、性的指向などによってボランティアを差別することはなく、本人のプライバシーを尊重します。しかし、ボランティアの生活習慣が、調査開催地の住民感情と対立したり、傷つけたり、時には地元の法律に反する場合もあります。

さらに他のボランティアや主任研究者に悪影響を及ぼすような生活習慣や行動は、不快感や敵意を生むだけでなく、作業環境の悪化に繋がりがかねません。

ボランティア全員が自分の行動に責任を持ち、現地の文化との相違に充分配慮することが必要になります。

現地の文化には細やかな神経を使い、一般的な礼儀を尽くすのはもちろん、楽しく、実り多い作業環境と、現地住民との円滑な人間関係を築くため、以下の行動規範にも十分に配慮してください。

*恋愛関係

主任研究者、その助手、同僚および共同研究者は、調査期間中にボランティアと恋愛関係を持つことが禁じられています。

*性的嫌がらせ（セクハラ）

主任研究者やアースウォッチのスタッフがボランティアにセクハラをすることは禁じられています。同様に、ボランティアが主任研究者、仲間のボランティア、アースウォッチのスタッフ、現地住民にセクハラをすることも禁じられています。

セクハラは、言葉・態度で性的感情が表現されたり、押しつけられることはない、という個人の権利を侵害します。社会的に受け入れられている挨拶などはセクハラに入りません。相手を攻撃したり、社会的道徳に反したり、アースウォッチの調査の活動を妨げるといった行動はセクハラと見なされ、禁じられています。

具体的には、猥褻あるいは下品な発言、セクハラをうかがわせるコメント、中傷的なポスターや漫画および絵の提示、デートや性的嗜好および本人が求めている身体的な関係や露出の強要などが、セクハラ行為に該当します。自分には全く気にならなくても、他のボランティアや現地住民、アースウォッチのスタッフ、主任研究者には不快感を与えることもありますので、注意しましょう。

これはセクハラにあたると感じたり、セクハラ行為に気づいた人は、誰でも直ちに主任研究者かアースウォッチのスタッフに報告してください。セクハラに関する報告は、すべて慎重に扱われ、迅速かつ徹底的な調査が行われます。セクハラとみなされる行動をとったボランティアは、調査からの退去を求められます。この場合の費用は自己負担になります。（セクション9「調査からの退去」を参照してください）

*薬物

アースウォッチの調査の調査作業やボランティアワークの期間中、米国の法律で認められていない薬物の製造、所持、使用、購入、販売は、厳禁です。処方薬は正しい使用方法に従って、処方箋に記載されている本人のみが購入および摂取することができます。

*アルコール

休日や自由時間にアルコール類を飲む場合は、節度を守るようお願いいたします。現地の法律や慣習を尊重してください。過度の飲酒は自分自身の安全だけでなく、チームメイトや主任研究者の安全をも脅かすことがあります。

アースウォッチの調査の参加者で、日本人は20歳以上でなければアルコール類を飲むことはできません（米国人は21歳以上、その他各国の規則に準じる）。さらにアルコール類の使用、所持、販売、購入についての規則が主任研究者によって決められている場合もあります。アルコール類の使用、所持、販売、購入に関する現地の状況、慣習、習わし、法令、規制は、アースウォッチの調査参加者全員に適用されます。

アースウォッチのスタッフと主任研究者は、時と場所をわきまえないで酒を飲み、そのために調査の安全と成果を損なうような参加者を調査から退去させる権利があります。

4. 休日

アースウォッチおよびアースウォッチの主任研究者は、調査で活動中のボランティアに現地での危険性を警告し、参加者の安全を確保する努力をします。

調査参加者は、作業日や調査期間の前後に、自由時間を持つことができますが、その自由時間はアースウォッチの活動ではないため、アースウォッチは責任を負いません。参加者本人で自分の身の安全に責任を持ってください。自由時間にアースウォッチのスタッフと主任研究者は、自由時間の行動の計画、手助け、または参加者と行動を共にすることもあります。しかしそのような場合でも、アースウォッチのスタッフと主任研究者はアースウォッチの代表として参加するのではなく、個人としての行動になりますので、ご承知ください。

5. 緊急時には他者に配慮しお互い助け合う

緊急時の判断は、主任研究者、アースウォッチのスタッフ、ボランティアの三者によってなされなければなりません。事情をよく把握した上で判断を下せるようアースウォッチおよびその関係者は努めています。公的資格を持たない調査参加者の判断による応急手当や緊急対応が必要な場合もあります。

それぞれのアースウォッチの調査において、安全基準と緊急事態への対処方法が決められています。しかし、予測できない緊急事態において、アースウォッチは参加者（主任研究者、スタッフ、ボランティア）が自分自身の安全を確保するために最適の判断を下すことを妨げはしません。同様に、非常事態にある仲間を助けるといった行動を止めることもありません。しかしボランティアが自分の身を危険に曝してまで、仲間に手を貸し、救助することは望んでいません。

6. 未成年者

未成年者とは日本人は 20 歳未満のボランティアを指します（米国人は 18 歳未満、その他各国の規則に準じる）。アースウォッチの参加者は調査参加時に少なくとも 16 歳になっていなければなりません。たとえ未成年者であっても、18 歳以上のボランティアと同じ活動に従事してもらいます。現地の調査スタッフ以外に付き添いはいません。また調査地への行き帰りに同伴者を手配することもあります。

10 代の参加者は 1 チームに 2 名までです。アースウォッチと主任研究者の判断によって、例外を認めている調査もあります。また未成年の参加が認められない調査もありますので注意してください。

7. ボランティアと車の運転

ボランティアが調査で使用する車両、船舶の運転および飛行機の操縦は禁じられています。また、他のボランティアやスタッフ、調査の道具類を車で運ぶこともありません。自分の車であっても同様です。つまり、ボランティアは自分で自分の車を調査調査地まで運転して来ただけが許されています。

緊急時にフィールドでの任務を果たさなければならない時だけ、調査用の車両と船舶の運転、他のボランティアの輸送や車両、船舶の運転および飛行機の操縦が許可されません。

8. 拒否権

アースウォッチはアースウォッチの調査への参加希望者を拒否する権利を保有します。この権利を使うことは非常にまれで、通常は特殊な調査に求められる健康面の必要条件を応募者が満たしていない場合、あるいはチームに溶け込む気がないと思われる場合に参加を拒否されます。

9. 調査からの退去

本文に記載された規則に違反したボランティアは、調査から自費で退去することになります。調査からの退去は主任研究者とアースウォッチのスタッフの判断に任されています。さらに研究者が、そのボランティアの行為によってチームの安全、調査対象、全体の活動を危険にさらされると判断した場合、アースウォッチは研究者がボランティアを退去させる権利を持つことを認めています。チームから退去させられたボランティアは、調査地からの旅費を全額自己負担しなければなりません。研究分担金も返却されず、調査参加にかかった費用も一切返却されません。

10. 責任ある行動

多くの調査は、観光地から外れた遠隔地で行われます。このような遠隔地に旅行するとき、アースウォッチは、責任ある行動と礼儀を重視しています。どのような行為が犯罪に当たるか疑問に思ったときは、主任研究者に聞いて確かめてください。地元の人たちと触れ合うことができるのは、アースウォッチの調査の貴重な特徴です。調査に参加する前に、地元の習慣を学び、尊敬し、適切な服装を身につけることを心掛けてください。自分自身の存在が、地元の人々の好奇心をそそるかもしれないこと、また、出会う人たちや訪れる場所に対し、自分の国の文化的信念や価値観を押し付けないよう心掛けてください。

写真や贈り物に関しては、特別な注意を払うようにしてください。アースウォッチの調査に参加すると、写真やビデオを撮るチャンスが数多くあります。しかし、写真を撮る前に許可を請うことは、とても大切です。多くの地元の人たちは、目障りだと思ってしまうので、適切な行為かどうかは主任研究者に聞くようにしてください。贈り物については、地域社会内での困惑を避けたり、よけいな期待をもたらさないように、贈り物の種類や値段を主任研究者に聞いて、アドバイスを受けてください。

最後に、アースウォッチは、環境にやさしい旅行を強調しています。ボランティアの皆さんは、参加する場所への環境付加を最小限にするようにしてください。ごみや非天然物を捨てないようにしてください。火事の危険性を認識し、キャンプをするときは、必要以上に土地を荒らさないように、調査スタッフの指示に従ってください。また、地元の人たちが飲用水源として重要な役割を果たしているかもしれないので、川、流水、井戸を使用するときには特に気をつけてください。疑問があるときは、調査のスタッフに聞いてください。

認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院
農学生命科学研究科フードサイエンス棟 4 階
Tel: 03-6686-0300 E-mail: info@earthwatch.jp